

# 株式会社 IWC

〈事業計画名〉ブレードマシン導入による原価力向上と事業拡大



## 金属配管分野における市場競争力強化 外装ブレード加工の内製化計画

### 事業の背景

#### 金属配管分野における競争力強化

当社の事業領域である生活インフラ・産業インフラの金属配管分野において、業界規模の大きさに対して当社の占有率が少なく、販路拡大が大きな課題となっていた。

金属配管分野では、高圧耐性が不可欠であり、耐圧性を保つ為、金属のフレキシブルチューブに外装となる“ブレード”を溶接する「外装ブレード加工(金属網組)」が必須となる。

当初、当社ではブレードを購入し、溶接加工を施して製品製作を行っていたが、製造リードタイムや納期・コストを圧迫する原因となっており、市場での競争力に劣り、占有率を伸ばせずにいると考えられた。

そこで、本事業においてブレードマシンを導入し、外装ブレード加工の内製化を計画。コスト競争力に加え、納期短縮を目標とした。



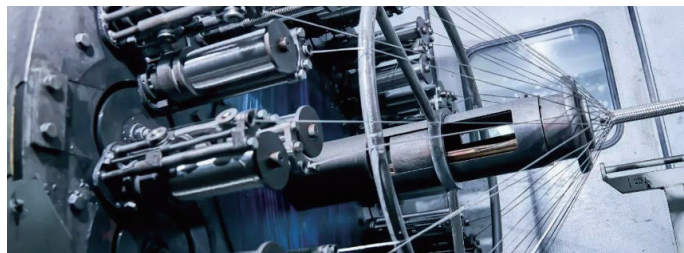
### 事業の成果

#### 外装ブレード加工の内製化

本事業では小径・大径に対応できるよう、径の異なるブレードマシン3機、および、ブレードマシン用のワイヤーリール巻き上げワインダーを導入。

これにより、外装ブレード加工の内製化が完了し、目標通り原価を約3割削減、納期は約5日から約1日へ短縮出来た事で、金属配管分野における競争力強化が実現した。

また、内製化する事で、今まで外注に頼っていたブレード製作自体を自社製品として展開することも可能となり、新たな事業領域へ進出できた事も成果として挙げられる。



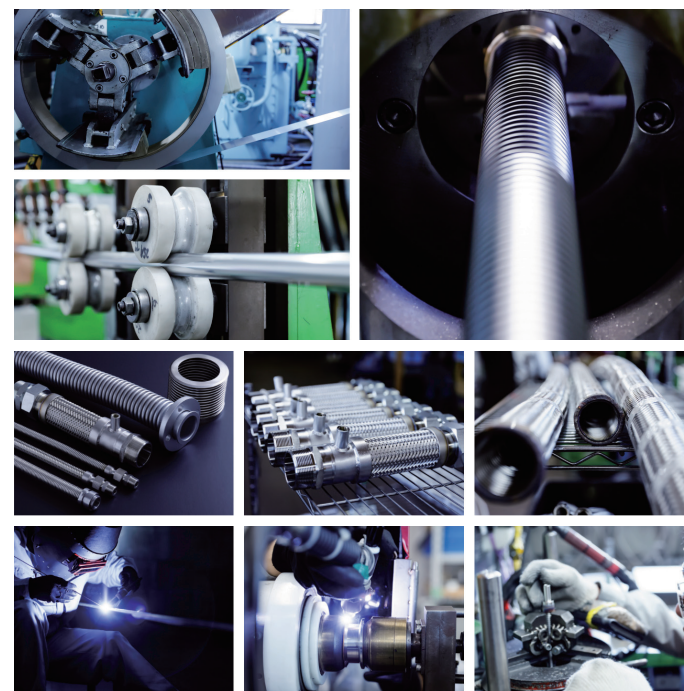
### 株式会社IWCの概要

#### 水道の蛇口から宇宙開発、チューブ製作から溶鉱炉メンテまで多角的に事業展開

当社は溶接加工専門の部門として平成18年に創業し、薄肉・特殊材などの溶接技術をコア技術として事業を展開。平成26年にはフレキシブルチューブの製造・加工事業に進出し、メーカーとして第二創業をスタートした。

平成27年度ものづくり補助金にて独自設計のマルチ成形機を開発し、製造体制を一新。続く平成29年度ものづくり補助金(左記掲載分)ではブレードマシンを導入し、ブレード製造・加工分野へも領域を拡大。フレキシブルチューブ関連では、設計から製作まで、オプションを含めたほぼ全ての仕様・工程において自社対応が可能な体制となっている。

当社の製品はガス・水道等の生活インフラ分野から医療・半導体・宇宙開発などの研究・最先端技術的な分野といった様々な現場で幅広く使用されており、フレキシブルチューブを中心とした総合メーカーとして、生活と技術革新の現場を支えている。



### 株式会社IWCの今後の事業方針

#### 医療・半導体・宇宙開発等の分野で必須となる高圧対応配管「真空用チューブ」

医療・半導体・宇宙開発等の研究・最先端技術分野において、研究に使用される設備・機械は、技術に合わせて開発・改良・刷新で常にアップデートされているが、その設備や機械同士を“繋ぐ”部品として当社の製品が用いられており、今後ますますの発展・拡大が期待できる分野である。

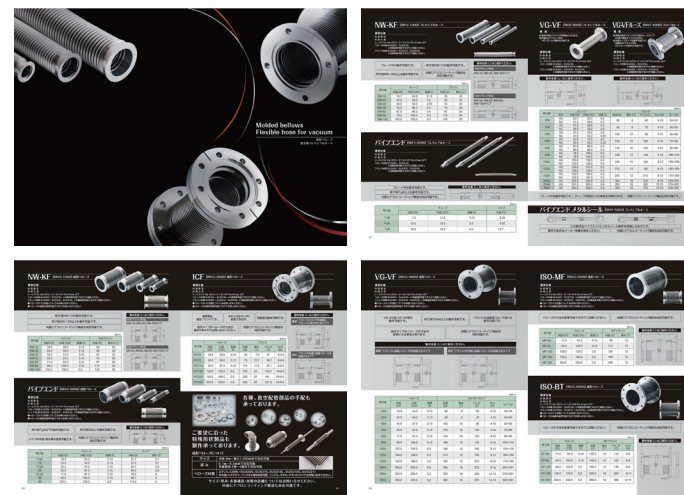
特に近年は研究・開発・実験環境において「真空状態」を構築する設備・機材を繋ぐ為に「真空用チューブ」が用いられる事が多い。

真空用チューブは、設備室内の真空状態構築の気圧制御配管やレーザー・陽子線などの通路としても使用される為、流体用配管以上に精度・品質・強度が要求され、施設規模から長さ数km、直径80cm以上といった重厚長大部品になる事もある。

産業用ロボットやレーザー等の計測、測定装置といった目立つ最先端技術機械部品という訳ではないが、その最先端技術を稼働させる為、あるいは研究・実証する環境維持・構築の為に欠かす事が出来ない、“縁の下の力持ち”的存在が当社の製品なのである。

当然ながら同分野へ製品を提供している同業他社も多く、競争力の強化は不可欠である。

今後更なる差別化・優位性確保の為にフレキシブルチューブ(ホース)、成形ペローズを含めた「真空用」配管・配管部品の製品開発、品質・精度向上、製造体制の拡大・効率向上に注力し、ニーズに応えるモノづくりを行い、事業領域の主市場として同分野へ向き合っていく。



## 株式会社 IWC

業 種 分 類 金属製品製造業

事 業 内 容 金属フレキシブルチューブ及び継手製品の開発・製造・販売  
金属溶接全般にわたる加工業務及び溶接加工開発  
金属造管及びフレキシブル波付け成形機械の開発・製作・販売

代 表 者 名 代表取締役社長 藤田 伸恵  
所 在 地 奈良県奈良市北之庄西町2-7-8  
連 絡 先 TEL:0742-63-2733 / FAX:0742-63-2739  
ホームページ <https://iwc-tec.co.jp/>  
E - M A I L [n.fujita@iwc-tec.co.jp](mailto:n.fujita@iwc-tec.co.jp)